

第 6 回 GIS 実践講座の報告

締めくくりの講座です

2006 年 7 月 29 日
NPO 法人電子自治体アドバイザークラブ

第 6 回 GIS 実践講座要綱

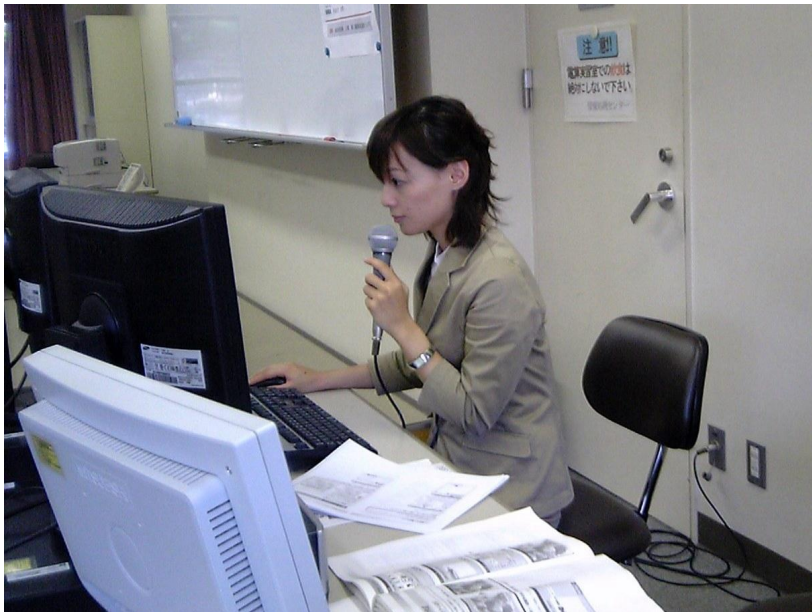
日時：平成 18 年 7 月 28 日(金) 13:00 ~ 13:30 会場：奈良大学 コンピュータールーム
講座参加者：44 名 内訳：自治体関係者 11 名 企業関係者 8 名
測量技士関係者 4 名 一般 21 名

セミナー：「空間情報システムの SIS」 13:30 ~ 15:00

(株)インフォマティクス大阪営業所 石川 愛氏

【概要】

150 種類以上の電子地図、統計データ、エクセル等の台帳データを連携させる機能を有する「SIS」を利用し、自治体の日常業務で頻繁に利用するさまざまな地図と統計データ、そして国土地理院のホームページから無償でダウンロードした電子地図等を連携させます。更に、受講者が作った地図を重ね合わせ、地域の現状把握と分析をビジュアルに行う実践作業を通じて GIS の基本を習得して頂きます。



【講師のプロフィール】

(株)インフォマティクス 大阪営業所 技術グループ / 大阪市立大学 工学部 非常勤講師
2001 年 大阪市立大学工学部建築学科卒業、同年 株式会社インフォマティクス入社、2003 年から、大阪市立大学非常勤講師として GIS に関する講義(地域環境情報処理)を担当し、現在にいたる。

< 休憩 >

15:00 ~ 15:10

セミナー：「自分たちでつくりたい防災、防犯マップ」 15:10 ~ 16:40

GIS 総合研究所理事長 川添博史氏

【概要】

近年、世界的に自然災害や人的災害が多発しており、自治体等から地震、台風、水害、防犯等々、多岐にわたり地域情報が提供されています。しかし各地域での詳細で具体的な防災・防犯情報を盛り込むには至っていません。これは非公開が多く含まれるからです。そこで「防災・防犯マップ」を自分たちの手で地図を作ることで、危機管理は人まかせではなく自分達の責任でもあることの認識から地域コミュニケーションを防災・防犯という切り口で推進、啓蒙します。



【講師のプロフィール】

GIS 総合研究所理事長、GIS 学会理事、日本社会情報学会会員、教育システム情報学会員、平成9年度 国土地理院電子基準点の利用によるGPSバーチャル・リファレンス・ステーション方式のリアルタイムデータ取得実証実験。平成9年共同実証実験参加。高精度測位でのデータ取得実証実験。平成14年度、国土交通省データベース利活用実証実験参加。平成16、17年度、コンピュータ教育開発センタより産業協力授業受託して「自分だけの地図作り」の実施。

まとめ：奈良大学教授 碓井照子氏

今年2月に、第1回のGIS実践講座を開始してから、今回、第6回の最終回の講座であった。総括して、GIS技術の進展や、より現実的なビジネスの展開など、身近なものになってきた。本日の体験実習は、既に自治体などにて、実績の或るソフトをベースに、実践的に分かり易いものであった。ソフトは低価格で、操作も簡単で、Excelデータなど有効活用でき、また、防犯・防災など地域で情報共有できる安全マップ、避難場所などの作成が容易にできる。6回シリーズの講座にて、12テーマを12人の講師が、色々な角度から、解説され、勉強になったと思う。参加者はのべ300人近くで、毎回50人前後の参加者があり、GISへの関心を高めることができたと思う。国において、GISに関する基本法が10月ごろ開催予定の国会にて成立される見込みである。自治体においても、それに基づいた取組が求められる。6回シリーズの実践講座は、非常によいタイミングで開催できた。これからの取組に役立つものと思う。

総括

・のべ参加数：287名 ・6回皆勤者：6名 ・皆勤団体：3団体

GIS 実践講座の表彰式

皆勤された個人(6名)、団体(3団体)にたいして、碓井座長より終了証を授与された。



所感

本日の講座は、社会の様々な場面で活躍している実績のある取組についての体験実習であった。防災・防犯、避難場所への案内など、市民生活に関心度の高い身近なテーマであった。GISは金がかかるといふ先入観を棄てるに十分な内容であった。

1. SIS 体験セミナー（講師：インフォマテック社 石川氏）

まず、該社の商品紹介、空間情報システム SIS の紹介があった。その後、具体的な事例を含めて体験実習を行った。商品の特徴としては、情報基盤を支える空間情報システムとして、多様な技術を組合せた高度なサービスを提供する。例えば、安全・安心な社会を実現するためのシステム、各種アプリケーションと連携した「ワンストップサービス」、など、柔軟性にすぐれた機能を持っている。体験実習では、具体的に、奈良市の地図を利用して、避難場所の設定方法や、自宅から避難場所までの距離や誘導などを作成実習を行った。役所や住民にとって、非常に便利なシステムであると感じた。100万円や、数十万円など、いくつかの商品があり、実現可能なレベルだと感じた。既に、自治体において、実績が多いことがうなずける。

2. 自分たちでつくろう防災、防犯マップ（講師：GIS 総合研究所 川添氏 他）

まず、川添氏から、「GIS 総合研究所の取組概要」について説明があった。年々、増大する災害や事故が相次ぐ中、とりわけ子供の安全・安心の確保は緊急な取組課題であり、GIS 総研では、この課題に着目して、各種の体験学習を行い、安全・安心な情報地図づくりに取り組んでいる。また、山下氏から、「児童生徒の考察力を伸ばす地域調査学習システム」について紹介があった。複数の児童が共同利用できる情報追記型 GIS プラットフォームを開発した。また、猪原氏から、「地域でつくろう、防災、防犯マップづくりかた教室」について解説があった。GIS エンジン「地図太郎」の特徴と仕様、活用事例、防災・防犯マップの作成について説明があった。非常に実践的で、安いシステムである。

大幅に時間不足であったが、内容豊富であった。

懇親会

奈良大学 喫茶「ならやま」（奈良大学 構内）にて、立食形式の懇親会が行われた。参加者は27名であった。理事長の挨拶にはじまり、時間を大幅に超過して、意見交換、今後の取組など熱っぽい議論が続いた。奈良県の自治体において、GISの関心が高まり、NPOの役割もでてるものと思われる。

9月から始まる「高度情報セキュリティ実践講座」にて、再会を楽しみにして散会した。

第6回 GIS 実践講座の風景

[写真1](#) [写真2](#)、 [写真3](#)、 [写真4](#)、 [写真5](#)、 [写真6](#)、 [写真7](#)、 [写真8](#)、

「GIS 実践講座」を無事修了することができました。有難うございました。

9月より、「高度情報セキュリティ実践講座」を5回シリーズで開催します。ご参加いただきたく、詳しくは、別紙、又は(URL:<http://e-aac.naist.jp/e-AAC/>)をご覧ください。